

町の決算

みなさんが納めた税金や国からの交付金などの収入を、どのような目的で、いくら使ったかをお知らせします。

一般会計

収入から支出を引いた額は、6億3,836万円で黒字となっています。このなかには、令和元年度中に完成しなかったため令和2年度に繰り越す事業に充てる収入も含まれています。その額を除いた実質収支は、2億9,573万円の黒字です。

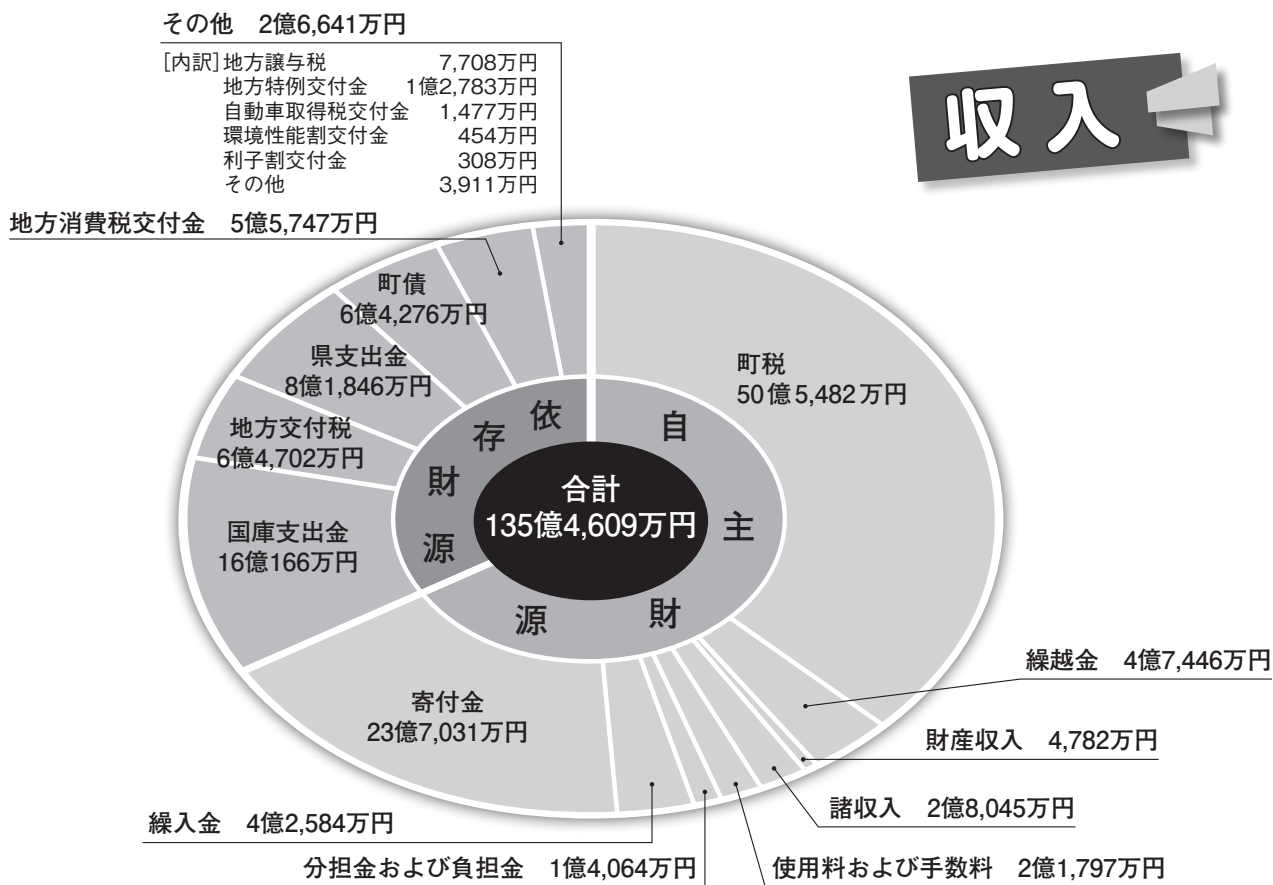
◇収入

収入は、平成30年度よりも16億7,371万円少なくなりました。これは、平成30年度に新設中学校建設事業と新宮中学校の給食室などの整備が終了したことにより、国庫支出金や地方債が減額となったことが影響しています。

内訳は、町税など町が主体的に収入できる自主財源が約66.5%であり、国や県からの交付金や町の借金である町債などの依存財源は約33.5%です。

また、町税は、町民税、固定資産税、町たばこ税などが増加したため2億6,062万円(対前年度比5.4%)の増加、寄付金は、ふるさと寄付金が増加したため2億4,193万円(対前年度比11.4%)の増加となっています。

収入



住民1人当たりの金額：**合計40万3,722円**

(令和2年3月末人口：3万3,553人)

町税	繰越金	財産収入	諸収入	使用料および手数料
15万652円	1万4,141円	1,425円	8,358円	6,496円
分担金および負担金	繰入金	寄付金	国庫支出金	地方交付税
4,192円	1万2,692円	7万644円	4万7,735円	1万9,284円
県支出金	町債	地方消費税交付金	依存財源その他	
2万4,393円	1万9,157円	1万6,615円	7,940円	

◇支出

支出は、平成30年度よりも18億3,761万円少なくなりました。

目的別にみると、総務費、民生費、諸支出金などが増え、教育費、衛生費などが減っています。

総務費はふるさと納税事業の拡大に伴い、委託料や使用料が増えたことなどから1億2,113万円(対前年度比5.1%)増加、民生費は、障害者福祉関連扶助費やプレミアム商品券事業費の増加などで1億1,204万円(対前年度比3.1%)増加、諸

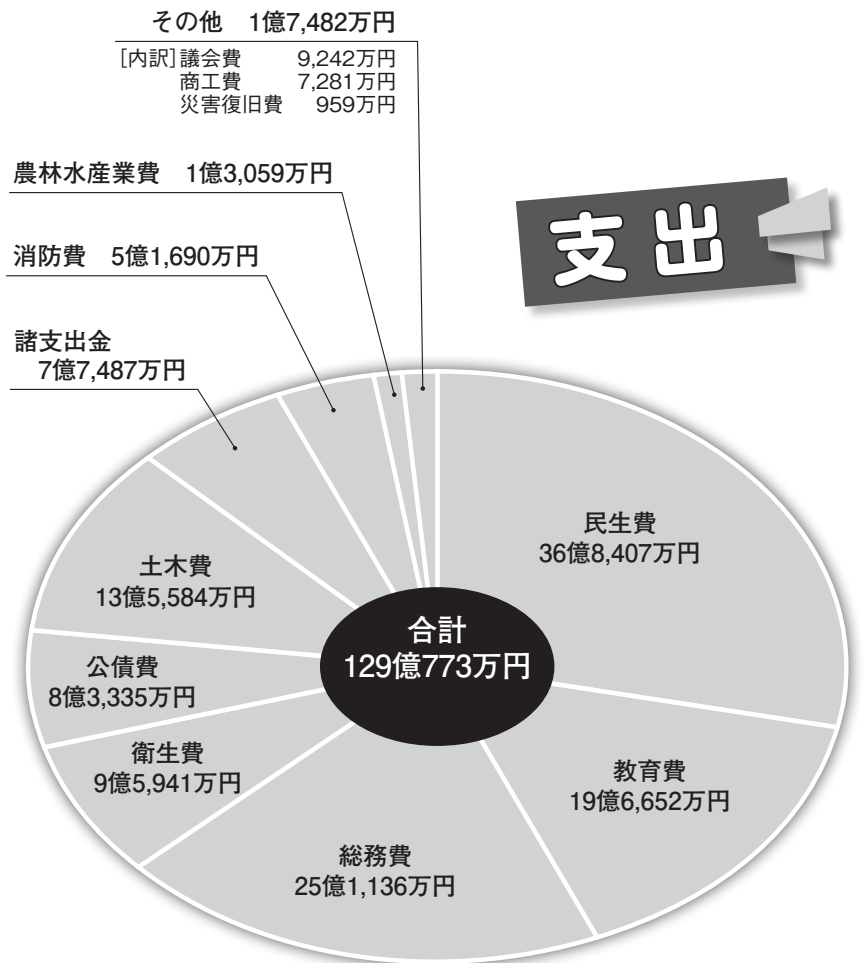
支出金は、ふるさと応援基金への積立金などにより2億8,114万円(対前年度比59.2%)増加しています。

一方、教育費は新設中学校建設事業と新宮中学校の給食室などの整備が終了したことにより、22億8,143万円(対前年度比53.7%)減少、衛生費は玄界環境組合への負担金が減少したことから7,400万円(対前年度比7.2%)減少しています。



令和元年度に実施した 主な事業

- (仮称)新宮ふれあいの丘公園交流施設整備事業
2億9,976万円
- そびあしんぐう熱源空調および照明機器更新事業
2億6,125万円
- 新宮ふれあいの丘公園整備事業(グラウンド、緑道、管理棟)
2億190万円
- 小中学校・幼稚園特別教室等空調設備設置事業 7,695万円
- 立花小学校トイレ改修事業
5,819万円
- (仮称)駅西口公園整備事業
4,105万円
- 小万崎~柳ヶ浦線道路改良等事業
3,410万円
- 駅西口3号線道路改良事業
3,318万円
- 新宮町消防団第1分団格納庫新築事業 2,515万円
- 新宮中学校グラウンド横駐車場トイレ改修事業 2,343万円



住民1人当たりの金額：**合計38万4,697円**

(令和2年3月末人口：3万3,553人)

民生費	教育費	総務費	衛生費
10万9,799円	5万8,609円	7万4,848円	2万8,594円
公債費	土木費	諸支出金	消防費
2万4,837円	4万409円	2万3,094円	1万5,405円
農林水産業費	議会費	商工費	災害復旧費
3,892円	2,754円	2,170円	286円

相島診療所事業特別会計

相島にある町立診療所を運営するための会計です。

収入 3,894万円

支出 3,662万円

○年間延べ患者数 2,177人

簡易水道事業特別会計

相島の水道事業を運営するための会計です。

収入 1億420万円

支出 1億312万円

○給水人口 252人

水道事業会計

相島を除く町の水道事業を運営するための会計です。水道事業会計は、地方公営企業法が適用されており、複式簿記による経理となります。

収益的収入 7億9,404万円

収益的支出 6億6,072万円

資本的収入 5,409万円

資本的支出 2億8,277万円

○給水人口 3万2,790人

公共下水道事業会計

公共下水道事業を運営するための会計です。

平成30年度から地方公営企業法が適用されています。

収益的収入 9億6,511万円

収益的支出 8億7,216万円

資本的収入 8億370万円

資本的支出 10億5,379万円

○処理区域面積 435ha

相島漁業集落環境整備事業特別会計

相島の下水道事業を運営するための会計です。

収入 1,106万円

支出 1,034万円

特別会計

特別会計とは、特定の事業の内容や資金の運用状況をより分かりやすくするために、一般会計と分けて経理をする会計です。本町には、7つの特別会計と2つの事業会計があります。

渡船事業特別会計

新宮港と相島港の間を運航する渡船を運営するための会計です。

収入 1億7,609万円

支出 1億6,373万円

○年間乗客数 18万8,236人

○年間運航回数 2,094回

国民健康保険特別会計

国民健康保険制度を運営するための会計です。

収入 23億1,623万円

支出 23億499万円

○加入世帯数 2,981世帯

後期高齢者医療特別会計

75歳以上の人の医療制度を運営するための会計です。

収入 3億3,182万円

支出 3億2,930万円

○被保険者数 2,750人

住宅新築資金等貸付事業特別会計

住宅新築資金などを貸し付けるための会計です。現在は、新たな貸し付けを行っていないため、返済事務のみとなっています。

収入 77万円

支出 95万円

町 債

■町債現在高

会計名	平成30年度	令和元年度
一般会計	141億2,581万円	140億328万円
渡船事業特別会計	1億4,813万円	1億3,227万円
簡易水道事業特別会計	1億1,110万円	1億1,984万円
水道事業会計	15億4,581万円	14億1,602万円
公共下水道事業特別会計	55億4,121万円	55億8,448万円
相島漁業集落環境整備事業特別会計	3,670万円	3,383万円
合 計	215億876万円	212億8,972万円

町債とは、国や金融機関からの借金のことで、特定の事業を実施する場合に借り入れることが認められています。平成30年度までは、一般会計の新設中学校建設事業等の財源としての町債の借入れが増えていましたが、当事業の終了も影響し、令和元年度に新たに発行した町債の額が償還額を下回ったため現在高は減少しています。

基 金

■基金現在高

基金名	平成30年度	令和元年度
積立基金	31億8,832万円	34億8,508万円
財政調整基金	24億664万円	24億696万円
減債基金	3億4,945万円	3億4,942万円
災害対策基金	709万円	709万円
ふるさと応援基金	4億2,514万円	7億2,017万円
森林環境譲与税基金	—	144万円
定額運用基金	1億4,390万円	1億4,390万円
土地開発基金	1億4,000万円	1億4,000万円
国民健康保険高額療養資金貸付基金	150万円	150万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円	240万円
合 計	33億3,222万円	36億2,898万円

基金には、将来実施する事業の財源として積み立てる積立基金と、特定の事業を運営する資金となる定額運用基金の2つがあります。家庭での預貯金にあたるものが、積立基金です。令和元年度は、ふるさと応援基金を4億2,500万円取り崩しましたが、7億2,003万円を積み立てたため基金が増えています。

また、森林環境譲与税を積み立てた森林環境譲与税基金を令和元年度に新たに創設しています。

財政健全化判断比率

財政健全化判断比率は、町の財政がどのような状況であるかを判断する比率です。

■健全化判断比率

(単位：%)

区 分	平成30年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	14.29	20.0
②連結実質赤字比率	—	—	19.29	30.0
③実質公債費比率	7.9	7.3	25.00	35.0
④将来負担比率	88.4	88.2	350.00	基準なし

- ①普通会計(一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・相島診療所事業特別会計)の赤字の状況
 ②全会計の赤字と黒字を合算したときの町の赤字の状況
 ③町の財政規模に対して町債(借金)の返済額がどれくらいあるかを表すもの
 ④町の財政規模に対して、町債など現在町が抱えている負債がどれくらいあるかを表すもの
 ※①、②は全会計に赤字がないため「-」で表しています。

資金不足比率

会 計 名	平成30年度	令和元年度
水 道 事 業 会 計	—	—
公 共 下 水 道 事 業 会 計	—	—
渡 船 事 業 特 別 会 計	—	—
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	—	—
相島漁業集落環境整備事業特別会計	—	—

利用料金で運営する特別会計の経営状況を判断する比率です。すべての会計に資金の不足がないため、「-」で表しています。